

平成27年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495600148	事業の開始年月日	平成22年11月1日	
		指定年月日	平成22年11月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 川崎新百合ヶ丘			
所在地	(215-0005) 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘5-7-12			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18	名
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成27年10月8日	評価結果 市町村受理日	平成28年2月12日	

基本情報リンク先 <http://www.wam.go.jp/wamappl/hyoka/003hyoka/hyokanri.nsf/pSearch3?Open>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が施設内にとどまらず、ご家族様や地域の方々と常に交流をし、地域の中でも認知されるような施設運営をめざしています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成27年11月9日	評価機関 評価決定日	平成28年1月9日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は小田急線新百合ヶ丘駅下車、「千代ヶ丘7丁目」バス停より徒歩約3分、高台の住宅地の一角にあります。法人企業コンセプト「街の中に福祉を」、事業所理念「優しい心で暖かい介護」を目指しています。

<優れている点>

立ち上げ時から働いている職員が多いこともあり、職員間、職員と利用者間、ホーム長と職員でなんでも言い合える親密な関係ができています。協調性を糧にしながらホーム長は透明性を加え、利用者に直結するサービスの提供と、職員が働きやすい環境システム作りを構築中です。アセスメント表(ケアチェック表)から介護計画作成に至るまでの流れを整理し、分かりやすく、担当者が記入しやすくしています。アセスメント表の振り返り、更新などを容易にするべく作成しています。リビングは笑顔と会話に満ちています。職員は言葉遣いにおいて、利用者を人生の先輩として敬うことに配慮しています。訪問日、食事の配膳時に職員が鶏のから揚げを目の前でその人なりの大きさに切り分けている光景もみられました。

<工夫点>

手摺り、リビング、廊下、トイレなど13項目からなる週間チェック表を作成し、毎日の担当者と実施すべき項目、確認印を明確にして、清潔保持の継続を可能にしています。排泄の自立支援では排泄表の排便最終日時から事業所独自の支援目安を設けて支援しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 川崎新百合ヶ丘
ユニット名	1 F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の
	○ 2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と
	○ 2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	○ 2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	○ 2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	○ 2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	○ 2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「優しい心で暖かい介護」を理念とし、一人ひとりが自分らしい暮らしができるよう心に寄り添う暖かい介護を目指して実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の清掃活動に参加。定期的にボランティアのサークルや団体も来て下さっています。お散歩の時は挨拶をかわしたり、木や花等を見学させていただいています。お正月には神社にお参りさせていただいています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方にホーム見学にお誘いしてホームへの理解を深めていただく機会を作っています。その際、相談事などお聞きしています。またホームの敷地内に自治会の防災用の物置を設置し、共用で使用しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、ご家族様、自治会の代表、地域包括支援センターの方々が参加され行われています。活動状況の報告、日々の取り組みや事故、ヒヤリハットの報告などをおこない、ご意見や助言をいただいでサービスの向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所の担当者の定期的な訪問があり、利用者様のご様子や活動の報告、ケアサービスの取組をお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月会社がおこなっている「安全対策委員会」での勉強会に職員が参加し、ホーム内で更に勉強会を行って意識の向上をはかり身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体会議、フロア会議等でたびたび勉強会を行い、話し合いの場をもち意識の向上、意識の共有を図っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内外の研修会に参加しています。全体会議やフロア会議で報告、勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に契約書のサンプルをお渡ししています。契約時には一つ一つ説明を行い、質問を受け、十分理解をしていただいて契約に望んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2カ月に1度、家族会を行ってご意見や要望などをお聞きしています。面会にいらしたとき等にもコミュニケーションをとり伝えていただけるような雰囲気作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	普段から、何気ない会話を通して情報収集しております。全体会議、フロア会議を定期的に行っており、意見や提案を出していただける機会を設けています。話し合いの場を設け、より良い環境作りに反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	シフトを作る際には休みの希望をだしてもらい勤務とプライベートが両立できるよう努めています。定期的に自己評価・自己アピールをする機会を設け、人事評価を行って反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりの力量や希望に添って内外の研修の機会を設けています。働きながら資格の取得ができるよう勤務と両立できるよう調整しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部の研修などを通じて他事業所の同業者と交流の機会を持ち、それぞれの情報交換などを行いサービスの質の向上に役立てています。他事業所へのヘルプ等を通じ広い視野を持つような環境に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様の不安な気持ちを理解し、お話を耳を傾け、コミュニケーションを大切にして寄り添い、安心して暮らしていただけるような関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の不安や困りごと、ご要望などお話しをお聞きし、伝えていただきやすい関係づくりに努めています。暫定プランとしてご家族様のご意向をうかがっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様から利用開始前のご意向をお聞きしています。今までのお話などもお聞きし、今何が必要かを考え、ご意向と合わせて支援に活かせるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者一人ひとりを一人の生活者として食事の準備や片付け、掃除などできること、したいことを職員と一緒にしていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月一言通信でご様子をお伝えしています。イベントの時は事前にお知らせして参加のお誘いをしています。一緒に過ごしていただける時間を作るよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人や大切な人との交流が続くように電話やお手紙など支援しています。ご本人様の何気ない会話の中からお気持ちをくみ取り、ご家族様にお伝えして協力して支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の一人ひとりの個性と相性をふまえて楽しく過ごしていただけるよう働きかけを行っています。一人で孤立することがないよう職員が間に立って関係づくりを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方とも必要があれば、連絡を行っており、場合によっては相談・支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話、コミュニケーションなどから一人ひとりの暮らし方の意向やご希望等をくみ取り、生活に反映できるよう努めています。ご自分の意見を表出することが難しい場合も同様に日常のご様子等から思いをくみ取りとるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居の際、ご本人、ご家族からできるだけ生活歴、生活環境などをお聞きしています。ご入居後も会話を通してお話をお聞きして情報を収集、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの毎日の暮らしを把握しコミュニケーションを通して心身の状態、できる事など現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族のご意向を取り入れ、カンファレンスを行い、より良く暮らすため今何が必要なかを話し合っ て介護計画を作成しています。定期的 にまたは必要に応じてモニタリングを 行い現状に即した介護計画を作成して います。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のご様子やケアの実践を生活記録に記録しています。気づきや工夫を申し送りノートやフロア日誌に記録、カンファレンスを行い、職員間で情報の共有をしており介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時々のご状況、ニーズに対して臨機応変に対応できるように努めています。個別での外出支援等も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	外食や買い物など利用者様のニーズに応じて行っています。ホームのイベントには地域の方がボランティアとして定期的にご参加くださっています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	内科・歯科が月に2回、医療連携看護師・歯科衛生士が週に1回訪問があり健康管理をしています。内科は24時間対応となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回医療連携看護師による健康管理を行っています。一人ひとりの体調やご様子、変化などを医療連携看護訪問レポートに記録し適切な看護が受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを提供し、入院中の治療、生活が安心していただけるように努めています。入院中はお見舞いに伺い、病院関係者と情報交換の機会をもつよう努めています。退院時に備えて退院後の生活について相談の機会を作っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	現在、対象者となる方がいらっしゃいませんが、家族会でもお話ししています。研修などで学んだことを会議で再確認、職員が共有できるよう取り組んでいます。いつでも対応できるように準備をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応について定期的に研修しています。特に持病をお持ちの方については急変時の対応、連絡方法、搬送病院、ご家族の連絡先など一つにまとめて職員が速やかに対応できるようにしています。AEDの講習等も積極的に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署員立会いのもと、非難訓練を年に2度行っています。地域の方にも参加していただき、ご意見や助言をいただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりのお気持ちを大切に声かけ、プライバシーに配慮した対応をこころがけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご自分のことはできるだけご自分で決めていただけるよう働きかけています。ご自分の希望や思いを表出していただけるような関係作りに努めています。ご自分の意思を伝えることが難しい方には日頃の様子の中からくみ取るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事やおやつなど1日の中で大まかな流れはありますが、一人ひとりのご希望に添い、ご自分のペースで過ごしていただけるよう支援しています。ご本人様の体調や気分によっては食事時間をずらす等の対応もいたします。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	一人ひとりのお好みにあったその人らしいおしゃれをされています。ご自分だけでは難しい方は職員も一緒に考えたりします。定期的に理美容の訪問があり、思い思いの髪型を楽しまれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けは利用者様と職員が一緒に行っています。個人個人の状態にあった形態で提供しています。利用者様と職員は一緒に会話をしながら楽しい雰囲気ですら食事ができるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士により献立がつくられています。一人ひとりの食事量や水分量を記録し一日を通じた把握ができています。必要に応じて声かけや提供の工夫をして必要量が確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、一人ひとりの状態や能力に合わせた声かけや見守り、ケアを行って清潔の保持に努めています。歯科衛生士によるケアの指導や口腔ケアを毎週行っています。食事前には嚥下体操を行って安全に食事をしていただけるよう支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、能力に合わせた介助やトイレ誘導を行い、トイレでの排泄や自立に向けた支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をしっかりとっていただき、体操などで身体を動かして便秘の予防に努めています。必要に応じて医師に相談し個人に合わせた対応をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回を基本としていますが、個人のご希望に応じて入浴の機会を増やしています。一人ひとりの習慣などを尊重して入っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの年齢や体力、その時の体調に応じて日中も横になって休息をとっていただけるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤情報のファイルを作り、何時でも確認できるようにしてあります。薬の変更がある時は薬剤師から説明があり、申し送りノートにて職員全員が理解、共有できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方に合った役割、楽しみを生活歴、趣味、日常の様子から引き出し、一人ひとり張り合いを持って生活していただけるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩は日常的に行っています。ご本人様の思い、願いなどをご家族様にお伝えして協力していただき、希望の実現につながるよう努めています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金はホームでお預かりして管理しています。お金を持っていないと不安だという方にはご家族様と相談の上、所持していただいています。月に一度、訪問のベーカー等を手配して、買い物をする楽しみを味わっていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	日常的に友人や大切な人との交流ができるよう電話や手紙のやりとりの支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアには季節に合わせてご利用者様と一緒に折り紙などで飾りを作り、壁に飾りつけをしています。日常やイベント時の写真も貼ってお話しの話題になっています。危険がないよう動線に障害物がないよう気をつけ、毎日の掃除にて清潔を保っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	お一人で落ち着ける場所、仲のよい方同士でお話できる場所など、一人ひとりがフロアの中で居心地のよい場所がある様子で過ごしておられます。TVの前に大きめのソファを置き、色々な用途に利用して頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた物、思い出がある物や家具などをお持ちいただけるようご家族にお願いしています。大切な人やペットの写真、ご自分の作品などを飾って穏やかに安心して過ごしていただける空間作りを心がけています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に移動していただけるよう動線の確保を心がけています。ご自身の居室、トイレなどがわかりやすいように表示や目印をつけるなど工夫しています。		

事業所名	グループホームみんなの家 川崎新百合ヶ丘
ユニット名	2 F

V アウトカム項目		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
		2, 家族の2/3くらいと
		3, 家族の1/3くらいと
		4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「優しい心で暖かい介護」を理念とし、一人ひとりが自分らしい暮らしができるよう心に寄り添う暖かい介護を目指して実践しています。	立ち上げ時にみんなで話し合っ決めて、事業所独自の理念を1階、2階の入口に掲示しています。フロア会議や申し送りの時に振り返りを行っています。利用者一人ひとりが淋しさや不安でストレスを感じることがないように優しい支援を実践しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の清掃活動に参加。定期的にボランティアのサークルや団体も来て下さっています。お散歩の時は挨拶をかわしたり、木や花等を見学させていただいています。お正月には神社にお参りさせていただいています。	ボランティアは、レクリエーション指導者の手遊びや軽い体操、ハーモニカ演奏者などが来訪しています。近隣中学生の職業体験を受け入れています。自治会の役員が事業所の人事募集のチラシを貼ってくれたり、近隣に戸別配布してくれています。	ホーム長は今後はより積極的に地域活動に参加していきたいと考えています。保育園児との交流、正月の獅子舞を事業所に呼ぶなどの働きかけを強化され、利用者の喜びにつながることを期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方にホーム見学にお誘いしてホームへの理解を深めていただく機会を作っています。その際、相談事などお聞きしています。またホームの敷地内に自治会の防災用の物置を設置し、共用で使用しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、ご家族様、自治会の代表、地域包括支援センターの方々が参加され行われています。活動状況の報告、日々の取り組みや事故、ヒヤリハットの報告などをおこない、ご意見や助言をいただいでサービスの向上に活かしています。	運営推進会議は年6回定期的に開催しています。ヒヤリハットと事故の違いについての質問などが活発に出ています。事業所入口のオートロックが不具合になるとの指摘があり、事業所内のすべての窓の開閉と、他の出入り口の安全を確認しています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	区役所の担当者の定期的な訪問があり、利用者様のご様子や活動の報告、ケアサービスの取組をお伝えしています。	生活保護の人の受け入れもあり、区の保護課の担当者の定期的な訪問や、経過情報提供、日用品の請求書持参など密接な連携を図っています。市主催の研修会・講習会にはできるだけ出席するように努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月会社がおこなっている「安全対策委員会」での勉強会に職員が参加し、ホーム内で更に勉強会を行って意識の向上をはかり身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	見守りと確認の徹底により、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。車いす利用者の行動制限もしていません。事業所で毎月開催しているフロア会議と全体会議で意識の向上を図っています。法人での勉強会にも出席しています。「転倒骨折防止のための具体行動と対策指針」を定めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	全体会議、フロア会議等でたびたび勉強会を行い、話し合いの場をもち意識の向上、意識の共有を図っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内外の研修会に参加しています。全体会議やフロア会議で報告、勉強会を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に契約書のサンプルをお渡ししています。契約時には一つ一つ説明を行い、質問を受け、十分理解をさせていただいて契約に望んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2カ月に1度、家族会を行ってご意見や要望などをお聞きしています。面会にいらしたとき等にもコミュニケーションをとり伝えていただけるような雰囲気作りに努めています。	家族が来所した折に声掛けしたり、運営推進会議や家族会などで、利用者、家族の意見、要望を把握しています。スタッフに対するクレームに関しては、事情を聞くなどして対応しています。事業所での様子を居室担当者が毎月「一言通信」で報告しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	普段から、何気ない会話を通して情報収集しております。全体会議、フロア会議を定期的に行っており、意見や提案を出していただける機会を設けています。話し合いの場を設け、より良い環境作りに反映させています。	ホーム長は日常的に職員によく話しかけ意見を聞くようにしています。居室の芳香剤設置などの提案に即対応し職員の異動希望にも耳を傾けています。全体会議やフロア会議で意見や提案を聞くと共に、法人エリア会議でのテーマを職員に周知しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	シフトを作る際には休みの希望をだしてもらい勤務とプライベートが両立できるよう努めています。定期的に自己評価・自己アピールをする機会を設け、人事評価を行って反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員一人ひとりの力量や希望に添って内外の研修の機会を設けています。働きながら資格の取得ができるよう勤務と両立できるよう調整しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部の研修などを通じて他事業所の同業者と交流の機会を持ち、それぞれの情報交換などを行いサービスの質の向上に役立てています。他事業所へのヘルプ等を通じ広い視野を持つような環境に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	ご本人様の不安な気持ちを理解し、お話を耳を傾け、コミュニケーションを大切にして寄り添い、安心して暮らしていただけるような関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の不安や困りごと、ご要望などお話しをお聞きし、伝えていただきやすい関係づくりに努めています。暫定プランとしてご家族様のご意向をうかがっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様から利用開始前のご意向をお聞きしています。今までのお話などもお聞きし、今何が必要かを考え、ご意向と合わせて支援に活かせるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご利用者一人ひとりを一人の生活者として食事の準備や片付け、掃除などできること、したいことを職員と一緒にしていただいています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月一言通信でご様子をお伝えしています。イベントの時は事前にお知らせして参加のお誘いをしています。一緒に過ごしていただける時間を作るよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人や大切な人との交流が続くように電話やお手紙など支援しています。ご本人様の何気ない会話の中からお気持ちをくみ取り、ご家族様にお伝えして協力して支援に努めています。	利用者の半数が近隣に自宅があり、以前の友人や知人が来訪しています。利用者から依頼され、友人や知人に訪問を依頼する場合があります。家族と一緒に自宅へ帰ったり、墓参することは家族の喜びでもあり、記憶の想起、関係の継続ともなっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様の一人ひとりの個性と相性をふまえて楽しく過ごしていただけるよう働きかけを行っています。一人で孤立することがないよう職員が間に立って関係づくりを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方とも必要があれば、連絡を行っており、場合によっては相談・支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話、コミュニケーションなどから一人ひとりの暮らし方の意向やご希望等をくみ取り、生活に反映できるよう努めています。ご自分の意見を表出することが難しい場合も同様に日常のご様子等から思いをくみ取りとるよう努めています。	入浴や散歩時など、会話が弾むときに食事、買物、散歩、入浴などの具体的な要望・意向を汲み取っています。意向把握の困難な人には声掛けをして表情、しぐさなどから汲み取るようにしています。把握した内容は連絡帳に書きこみ全員が押印し情報共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居の際、ご本人、ご家族からできるだけ生活歴、生活環境などをお聞きしています。ご入居後も会話を通してお話をお聞きして情報を収集、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの毎日の暮らしを把握しコミュニケーションを通して心身の状態、できる事など現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご本人、ご家族のご意向を取り入れ、カンファレンスを行い、より良く暮らすため今何が必要なのかを話し合っ介護計画を作成しています。定期的にまたは必要に応じてモニタリングを行い現状に即した介護計画を作成しています。	介護計画では利用者ごとに具体的に支援目標やサービス内容を設定しています。職員は介護計画を認識し、計画に沿った実施記録をつけています。必要があれば、家族や看護師の意見を取り入れ、カンファレンスを行い評価を行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々のご様子やケアの実践を生活記録に記録しています。気づきや工夫を申し送りノートやフロア日誌に記録、カンファレンスを行い、職員間で情報の共有をしており介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時々のご状況、ニーズに対して臨機応変に対応できるように努めています。個別での外出支援等も行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	外食や買い物など利用者様のニーズに応じて行っています。ホームのイベントには地域の方がボランティアとして定期的にご参加くださっています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	内科・歯科が月に2回、医療連携看護師・歯科衛生士が週に1回訪問があり健康管理をしています。内科は24時間対応となっています。	ほぼ全員が家族の同意を得て、協力医をかかりつけ医（内科）としています。医師の情報は往診記録情報として職員間で共有しています。外来受診（歯科・外科）には家族が同行しています。診療内科の処方外来は必要に応じて事業所も同行対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に1回医療連携看護師による健康管理を行っています。一人ひとりの体調やご様子、変化などを医療連携看護訪問レポートに記録し適切な看護が受けられるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護サマリーを提供し、入院中の治療、生活が安心していただけるように努めています。入院中はお見舞いに伺い、病院関係者と情報交換の機会をもつよう努めています。退院時に備えて退院後の生活について相談の機会を作っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	現在、対象者となる方がいらっしゃいませんが、家族会でもお話ししています。研修などで学んだことを会議で再確認、職員が共有できるよう取り組んでいます。いつでも対応できるように準備をしています。	重度化における同意書の作成はありませんが、看取りのガイドライン読み込みや、事例を活用した研修を実施しています。その時点に合わせた家族と医師と事業所間の役割などについて、具体的な話し合いを始めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応について定期的に研修しています。特に持病をお持ちの方については急変時の対応、連絡方法、搬送病院、ご家族の連絡先など一つにまとめて職員が速やかに対応できるようにしています。AEDの講習等も積極的に参加しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署員立会いのもと、非難訓練を年に2度行っています。地域の方にも参加していただき、ご意見や助言をいただいています。	3月は昼間の1階厨房からの出火、9月は夜間の2階浴室からの出火を想定し、出られる人は外部に移動しています。夜間訓練では日勤者が外部での避難者の見守りを担当しています。訓練マニュアルには洪水避難（麻生区版）資料を閉じこんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりのお気持ちを大切にしたい声かけ、プライバシーに配慮した対応をこころがけています。	人格の尊重は事業所別マニュアル第1章に明記しています。言葉遣いでは利用者を人生の先輩として敬うことに配慮しています。トイレ誘導の声掛けは人知れず、さり気なくを基本としたプライバシー保護を心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご自分のことはできるだけご自分で決めていただけるよう働きかけています。ご自分の希望や思いを表出していただけるような関係作りに努めています。ご自分の意思を伝えることが難しい方には日頃の様子の中からくみ取るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事やおやつなど1日の中で大まかな流れはありますが、一人ひとりのご希望に添い、ご自分のペースで過ごしていただけるよう支援しています。ご本人様の体調や気分によっては食事時間をずらす等の対応もいたします。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	一人ひとりのお好みにあったその人らしいおしゃれをされています。ご自分だけでは難しい方は職員も一緒に考えたりします。定期的に理美容の訪問があり、思い思いの髪型を楽しまれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の準備や片付けは利用者様と職員が一緒に行っています。個人個人の状態にあった形態で提供しています。利用者様と職員は一緒に会話をしながら楽しい雰囲気です。食事ができるよう努めています。	食事メニュー、カロリー計算は食事の委託先で栄養士が行っています。配膳時には職員が鶏のから揚げなど目の前でその人に合わせた大きさに切り分けるなど気配りをしています。誕生会でのケーキ作りや、正月、運動会などの特別食、希望者でタクシーを利用して外食もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士により献立がつくられています。一人ひとりの食事量や水分量を記録し一日を通じた把握ができています。必要に応じて声かけや提供の工夫をして必要量が確保できるよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、一人ひとりの状態や能力に合わせた声かけや見守り、ケアを行って清潔の保持に努めています。歯科衛生士によるケアの指導や口腔ケアを毎週行っています。食事前には嚥下体操を行って安全に食事をしていただけるよう支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄表を作成し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、能力に合わせた介助やトイレ誘導を行い、トイレでの排泄や自立に向けた支援を行っています。	トイレでの排泄を目標としています。排泄表では1日24時間表から1人ひとりのパターンを読み取って、さり気ない誘導をしています。排便の最終日時から事業所独自の支援目安を設けて支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をしっかりとっていただき、体操などで身体を動かして便秘の予防に努めています。必要に応じて医師に相談し個人に合わせた対応をしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回を基本としていますが、個人のご希望に応じて入浴の機会を増やしています。一人ひとりの習慣などを尊重して入っていただいています。	原則入浴は月～土曜日の午後としていますが、午前の入浴や日曜日の入浴も出来ます。週間チェック表では1日2～3名です。入浴前後の会話を楽しみとする人、シャンプーを自分の好みで使用する人など、利用者の希望や好みに合わせた支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	一人ひとりの年齢や体力、その時の体調に応じて日中も横になって休息をとっていただけるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬剤情報のファイルを作り、何時でも確認できるようにしてあります。薬の変更がある時は薬剤師から説明があり、申し送りノートにて職員全員が理解、共有できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その方に合った役割、楽しみを生活歴、趣味、日常の様子から引き出し、一人ひとり張り合いを持って生活していただけるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩は日常的に行っています。ご本人様の思い、願いなどをご家族様にお伝えして協力していただき、希望の実現につながるよう努めています。	日々の散歩は日常レクと捉え、散歩が困難な場合にも少しでも外気温度を肌で感じられるように玄関先まで出たり、ベランダに出ています。日曜日の午後、体調の良い人と共に近隣へ買い物外出をして楽しんでいます。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金はホームでお預かりして管理しています。お金を持っていないと不安だという方にはご家族様と相談の上、所持していただいています。月に一度、訪問のベーカー等を手配して、買い物をする楽しみを味わっていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	日常的に友人や大切な人との交流ができるよう電話や手紙のやりとりの支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	フロアには季節に合わせてご利用者様と一緒に折り紙などで飾りを作り、壁に飾りつけをしています。日常やイベント時の写真も貼ってお話しの話題になっています。危険がないよう動線に障害物がないよう気をつけ、毎日の掃除にて清潔を保っています。	フロア壁面には季節の創作品を飾り付けています。室内の照度は天井照明の調光とカーテンの開閉で微調整し、程よい明るさを保持しています。清掃は13項目からなる週間チェック表を作成し、担当者と実施すべき項目を明確にして、清潔保持の継続を可能にしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	お一人で落ち着ける場所、仲のよい方同士でお話できる場所など、一人ひとりがフロアの中で居心地のよい場所がある様子が過ごしておられます。TVの前に大きめのソファを置き、色々な用途に利用して頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた物、思い出がある物や家具などをお持ちいただけるようご家族にお願いしています。大切な人やペットの写真、ご自分の作品などを飾って穏やかに安心して過ごしていただける空間作りを心がけています。	自身の作品（ビーズ絵・折り紙など）を飾ったり、好きな猫のカレンダーや家族写真を飾る人もいます。エアコン、カーテン、ベッドは事業所の備え付けです。椅子とテーブルの他、テレビや置時計の持ち込みもあり、居室は思い思いのしつらえになっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	安全に移動していただけるよう動線の確保を心がけています。ご自身の居室、トイレなどがわかりやすいように表示や目印をつけるなど工夫しています。		

平成27年度

目標達成計画

事業所名 グループホームみんなの家 川崎新百合ヶ丘

作成日： 平成 28年 2月 6日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「看取り」に対する関わり方	どのような看取りがいいのか、ご家族の意向を聞き職員が共有の認識をする	看取りについて専門的な知識として医師などを招きご家族・職員ともに看取りを考える場を作っていく	適時継続
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月